

# 学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 令和3年12月14日

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

- 東大阪市学校教育基本目標  
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
  - 総合的視点に立つ教育の推進
  - 人間尊重に徹した人権教育の実践
  - 信頼に応える学校園経営
  - 学校園・家庭・地域の協働

## 令和3年度大阪府中学校生徒会サミット開催

### テーマ「大阪からいじめをなくすために」

～コロナ禍だからこそ、いじめを起こさない学校をつくるために生徒会ができること～

11月13日(土)大阪府庁本館にある府議会議場にて大阪府中学校生徒会サミットが開催されました。「大阪からいじめをなくすために」をテーマに大阪府下41市町村の公立中学校、府立中学校、私立中学校が協議を行い、東大阪市からは、意岐部中学校の生徒会役員2名が市の代表として参加しました。

昨年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてリモートを取り入れた形式で、議場には30校、リモートで16校の生徒会代表が参加しました。

① 府議会議場での全体意見交流の様子



#### ① 全体意見交流会

コロナ禍において、生徒同士の関わりの中でどのような問題が起こり得るか、参加校で意見交流を行いました。「マスクで相手の表情や感情が読みにくい」「スマホを使えない環境の子が一人になってしまうかもしれない」「ネットいじめが増えたと思う」など、日常生活の様々な変化や制限に起因する問題について意見が出されました。

① リモートでの全体意見交流の様子



#### ② グループ協議

議場とリモートでグループに分かれて、各グループ進行担当の生徒を中心にそれぞれで協議を進めました。参加した意岐部中学校の代表生徒も進行役をしてくださいました。全体意見交流会で出された問題点をふまえて、「いじめに発展させないために自分自身がどんな言動を心掛けるか」や「どんな取組みが発信できるか」などの話し合いが行われました。

② グループ協議の様子



③ 全体協議を終えて記念撮影



#### ③ 全体協議

各グループで話し合ったことをそれぞれ発表し、さらに議論することでより考えを深め合いました。まとめとして、「SNSの急速な普及、直接話す機会の減少が、誤解やトラブルを生みやすくなっている。」「SNSで上手に思いを伝える工夫や、学校で一人ひとりの良いところや得意ことなどを理解し合う場があればいじめを減らせるのではないか」「生徒会からポスターや動画で発信し、その取組みを大阪府全体に広げていければ」ということが挙げられました。今回議論したことが大阪府全体で継承され、より良い学校づくりに寄与していくことを期待しています。

## スタントマンによる交通安全教室

今年度も東大阪市道路管理室と警察署交通課と連携し、スタントマンによる交通安全教室を11月10日(土)弥刀中学校で実施しました。

当日は、あいにくの雨で体育館での実施となりましたが、スタントマンによる自転車事故の再現をしていただきました。

生徒たちはスマートフォン操作や傘を差しながらの片手運転、二人乗り等の危険運転で起きる事故の再現を実際に見て、事故の恐ろしさを知るとともに、自転車乗車時のルールや運転手の責任について学ぶことができました。

◆令和3交通安全年間スローガン(こども部門 最優秀作より)◆

**自転車に 乗るならきみも 運転手**



～スタントマンによる事故再現～

## 交通安全 DVD 贈呈式

布施警察署とサッカーチームのF.C.大阪が制作した交通安全DVDの贈呈式が11月18日(木)に市役所本庁舎で行われました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、警察署主催の交通安全教室が中止やオンデマンドの開催となりました。

そこで布施警察署とF.C.大阪が交通安全に関する動画を作成し、そのDVDを一日警察署長のサッカー選手から贈呈していただきました。

教育委員会はこのDVDを市立学校に配付し、交通安全教育を推進していきます。



～贈呈式の様子～

## 学力向上にむけて市全体で授業改善に取り組む

東大阪市では、学力向上フラッグシップ校(9校)を設定し、学力向上について先進して取り組み、公開授業や実践報告を通して、その取組みを東大阪市の全小中学校に普及・発信しています。

### 学力向上フラッグシップ校の主な研究テーマ

- ◎ ともに学び、ともに支えあう集団づくりを通して  
～本当に自分が伝えたい、思いや考えを書く力を育む～
- ◎ 『わかる・学びあう』授業の創造  
～デジタル教科書を活用した授業実践～
- ◎ たんきゅうしんをくすぐる授業づくり  
～学校図書館を活用して～ 等

各校から学力向上担当の教員が集まり、自校の取組みと重ねながら、学力向上フラッグシップ校の公開授業及び研究協議会で実践交流しました。以下、参加者の感想です。



- ・iPadの使い方や発表の方法は他教科で学んだことを生かしていることがうかがえた。自分の授業でもプレゼン能力を鍛えたり、iPadの操作を習熟させたりすることが他教科でも役立つと思いました。
- ・子どもたちが課題に対して諦めずに取り組む姿が一番印象に残りました。そこに至るまでに、先生が大切にされてこられた「自力解決の力」や「パワーアップタイム」、「ふり返し」などの取り組みがあったからこそだと思いました。先生から提示される「ヒントカード」を見る・見ないをはじめ、自分に合った学び方を選択して主体的に学習するという点について考えさせられる授業でした。このように、研究発表会に参加した教員は、学力向上フラッグシップ校から学んだことを自校の取組に反映させ、市全体の子どもの学力向上につながるよう、全校で授業改善に取り組んでいます。